



Title	日本語・日本文化 第30号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2004, 30
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21410
rights	本文データはCiNiiから複製したものである
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

執筆者紹介（掲載順）

山川 太	本センター専任講師
澤西 稔子	本センター非常勤講師
福本 亜希	本センター非常勤講師
Borré Caroline	本学大学院博士後期課程

編集後記

本センターでは、ここ数年、海外の日本研究拠点大学との連携強化を図り、日本語日本文化教育研究機関ネットワークの構築を目指してきたが、今年度はセンターを窓口として、新たにウィーン大学、ナポリ東洋大学、チューリヒ大学、オックスフォード大学、カリフォルニア大学バークレー校、リオデジャネイロ州立大学の6校と大学間学術交流協定が結ばれた。これにより、本センターと教育研究面で連携する大学（学科）は8校から14校に拡大、国際的な共同研究に取り組むための基盤整備も大きく前進した。本誌としては、近い将来、学術協定校との研究プロジェクトの成果が誌上を飾ることを強く期待したい。

さて、30号では、日本語の心理動詞文の格標示について考察した山川論文をはじめとする4点の研究論文を掲載することができた。4月1日の国立大学法人化への対応に追われる中、専任教官からの投稿が少なかったことは残念であるが、前号と同じく、本センターでかつて学んだことのある大学院生より投稿があったことは喜ばしい限りである。

「国立大学法人大阪外国語大学」が誕生する来年度は、本センターの前身である留学生別科が創設され50年目にあたる。本誌もこの節目を新たな出発点として、海外への発信力強化を視野に入れながら、質的な向上に努めていきたい。（S.Y）

『日本語・日本文化』投稿規定

1. 資格：本センター所属教官（非常勤を含む）及び『日本語・日本文化』編集委員会において適当と認められた者。
 2. 内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告等。
 3. 体裁：研究論文は400字詰原稿用紙50枚前後（欧文はA4ダブルスペース30枚前後）、研究ノート・研究報告は25枚前後（欧文は15枚前後）。
 4. 要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
 5. 採否：原稿の採否は『日本語・日本文化』編集委員会が決定。
-

編集委員

山本 進	山蔭昭子	水田明男
加藤 均	中田一志	岸本恵実

日本語・日本文化 第30号

2004年3月29日 発行

編集 大阪外国語大学
発行 留学生日本語教育センター
〒562-8558
箕面市粟生間谷東8-1-1
電話 (072)730-5459
FAX (072)730-5074

印刷 中西印刷株式会社